

内蔵ソリッドステートドライブの書き込み保証値と書き込みデータ量の確認方法 (MC-5DK861 / MC-1DK861 / MC-5DK941 / MC-1DK941 / MC-5DKA41 / MC-1DKA41)

有寿命部品 - 製品の書き込み保証値

本製品は、書き込み寿命を有する NAND フラッシュを含んだ「有寿命部品」となります。お客様のご使用方法により、保証期間内または SupportDesk 契約期間内に NAND フラッシュの書き込み寿命を迎える場合があります。

製品の保証は、弊社の定める製品保証期間/SupportDesk 契約終了日、または書き込み保証値に達した場合のいずれか早い時点で終了となります。

ご使用中に書き込み保証値に達し、寿命に至った場合(*)、製品保証期間/SupportDesk 契約有無に関わらず、修理をお受けすることはできませんので、お客様に製品を再度ご購入いただく必要があります。

(*) 当該製品が書き込み寿命を迎えた後もご使用を続けた結果、故障に至った場合も同様の対応となります。

本製品の書き込み保証値は、以下の通りです。

製品名	型名	書き込み保証値 DWRPD (Drive Writes Per Day)
400GB 内蔵ソリッドステートドライブ	MC-5DK861	10 回
	MC-1DK861	
800GB 内蔵ソリッドステートドライブ	MC-5DK941	
	MC-1DK941	
1.6TB 内蔵ソリッドステートドライブ	MC-5DKA41	
	MC-1DKA41	

DWRPD (Drive Writes Per Day): 1 日あたりにドライブ全容量分を上書きできる回数。

本製品の状態は、管理ツールを使用して確認できます。

定期的に状態をご確認いただき、製品の書き込みデータ量に達する前(寿命到達前)に弊社担当営業、もしくは販売パートナーまで再購入のご相談をくださいますようお願いいたします。

また、SupportDesk 契約の内容によっては、製品の再購入により、SupportDesk 契約の更新・変更手続きが必要な場合もありますので、こちらにつきましても、弊社担当営業、もしくは販売パートナーまでご相談くださいますようお願いいたします。

内蔵ソリッドステートドライブの書き込みデータ量の確認方法

書き込み寿命に到達する時期は、お客様のご使用方法(書き込みデータ量や書き込み回数)に大きく依存します。システム設計時に書き込み量の見積りを行うとともに、導入後も定期的に状態をご確認ください。システムの使用期間内に、書き込み保証値に達する可能性がある場合には、あらかじめ予備品を購入するとともに、予備品へのデータの移し替えの手順についても検討しておく必要があります。

本製品の状態は、PRIMEQUEST MMB FW の Web-UI または「ServerView RAID Manager」(SVRM)を使用することにより確認できます。これらのツールは、富士通公開ホームページ:「ダウンロード」より入手できます。

[ダウンロードサイト] <http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/download/>

書き込みデータ量の確認方法と各方法に必要なファームウェアおよびソフトウェア版数を下記の表に示します。

	監視条件			
	Windows / Linux		Extended Partitioning 機能	VMware ESXi 6.0 update 1b 以降
OS				
監視方法	MMB Web-UI		SVRM	SVRM
	SVRM を併用しない場合	SVRM を併用する場合		
本体ファームウェア ※	PQ2000 シリーズ Type1: BA15092 以降 PQ2000 シリーズ Type2: BB15092 以降 PQ2000 シリーズ Type3: BC16055 以降		指定なし	指定なし
ServerView Agentless Service	V8.10.12 以降(Linux) V8.10.12 以降(Windows)	不要	不要	不要
ServerView Agent	不要	V8.10.08 以降(Linux) V8.10.06 以降(Windows)	不要	不要
ServerView RAID Manager	不要	V6.5.5 以降	V6.5.5 以降	V6.5.5 以降

※ PQ2000 シリーズ Type1: PQ2400S / PQ2400S Lite / PQ2400E / PQ2800E
 PQ2000 シリーズ Type2: PQ2400S2 / PQ2400S2 Lite / PQ2400E2 / PQ2800E2
 PQ2000 シリーズ Type3: PQ2400S3 / PQ2400S3 Lite / PQ2400E3 / PQ2800E3

(1) 「MMB Web-UI」:

PRIMEQUEST 本体に標準で組み込まれている MMB ファームウェアは、装置管理のための Web-UI を提供しており、管理 LAN 経由で接続できます。ServerView RAID Manager を併用せず、Agentless で確認することも出来ます。【推奨】

なお、Extended Partitioning 構成の場合、あるいは、VMware をインストールしたパーティションの場合は、本確認方法は使用できません。「ServerView RAID Manager」にて確認してください。

(2) 「ServerView RAID Manager」:

OS 上で常に動作し、RAID や SSD 製品の状態表示・監視やイベント通知を行うツールです。

お客様環境の安定稼働のため、必ずいずれかのツールをご使用ください。Agentless であつ、ご使用状況をリアルタイムにご確認いただける「PRIMEQUEST MMB Web-UI」のご使用を推奨いたします。

次項では、上記の管理ソフトを使用した書き込みデータ量の確認方法をご案内しております。

1. 書き込みデータ量の確認方法 (PRIMEQUEST MMB Web-UI)

「PRIMEQUEST MMB FW」の GUI を起動し、[Partition >Partition#x >SSD Life Cycle Management] (x: SSD 製品が搭載されているパーティションの番号)を選択すると、画面右側の情報表示にカードの物理搭載位置、SSD 容量および書き込みデータ量が表示されます。

以下は画面の表示例です。また、参照する箇所は赤枠の部分となります。

- 「Rated write endurance」: SSD 製品の寿命設計値に対する、書き込まれたデータ量を示します。ご購入時はほぼ"0%"の状態が表示され、書き込みデータが累積することで値が増加していきます。"100%"またはそれ以上になったら書き込み寿命となります。

Model: PRIMEQUEST 2800E3
 Part Number:
 Serial Number:
 Status:

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance

>Partition >Partition#0 >SSD Life Cycle Management

- Power Control
- Schedule
- Console Redirection Setup
- Partition Configuration
- Extended Socket Configuration
- Reserved SB Configuration
- Power Management Setup
- Partition#0
 - Information
 - ASR Control
 - Console Redirection
 - Mode
 - SSD Life Cycle Management
- Partition#1
- Partition#2
- Partition#3

SSD Life Cycle Management

PCIe SSDs

Unit	Slot#	Capacity	Rated write endurance
-	-	-	-

SAS SSDs

Unit	Slot#	Capacity	Rated write endurance
SB#0	0	800GB	0%
SB#0	3	1600GB	0%
SB#0	2	1600GB	0%
SB#0	1	1600GB	0%
DU#0	3	400GB	0%
DU#0	2	400GB	0%

補足: 書き込み寿命に到達した場合の動作

SSD 製品が寿命に到達した場合、「PRIMEQUEST MMB FW」はイベントにより通知を行います。

その後もさらに継続して使用し続けた場合、データ保護のため SSD 製品は Read-Only モードへ移行する可能性があります。この場合、それ以上のデータの書き込みはできなくなります。

2. 書き込みデータ量の確認方法 (ServerView RAID Manager)

「ServerView RAID Manager」の GUI を起動し、画面左のツリーから参照する SSD 製品選択すると、画面

Model: PRIMEQUEST 2800E3
 Part Number:
 Serial Number:
 Status:

System Partition **User Administration** Network Configuration Maintenance

>Partition >Partition#0 >SSD Life Cycle Management

- [-] Power Control
- [-] Schedule
- [-] Console Redirection Setup
- [-] Partition Configuration
- [-] Extended Socket Configuration
- [-] Reserved SB Configuration
- [-] Power Management Setup
- [-] Partition#0
 - [-] Information
 - [-] ASR Control
 - [-] Console Redirection
 - [-] Mode
 - [-] SSD Life Cycle Management
- [-] Partition#1
- [-] Partition#2
- [-] Partition#3

SSD Life Cycle Management

PCIe SSDs

Unit	Slot#	Capacity	Rated write endurance
-	-	-	-

SAS SSDs

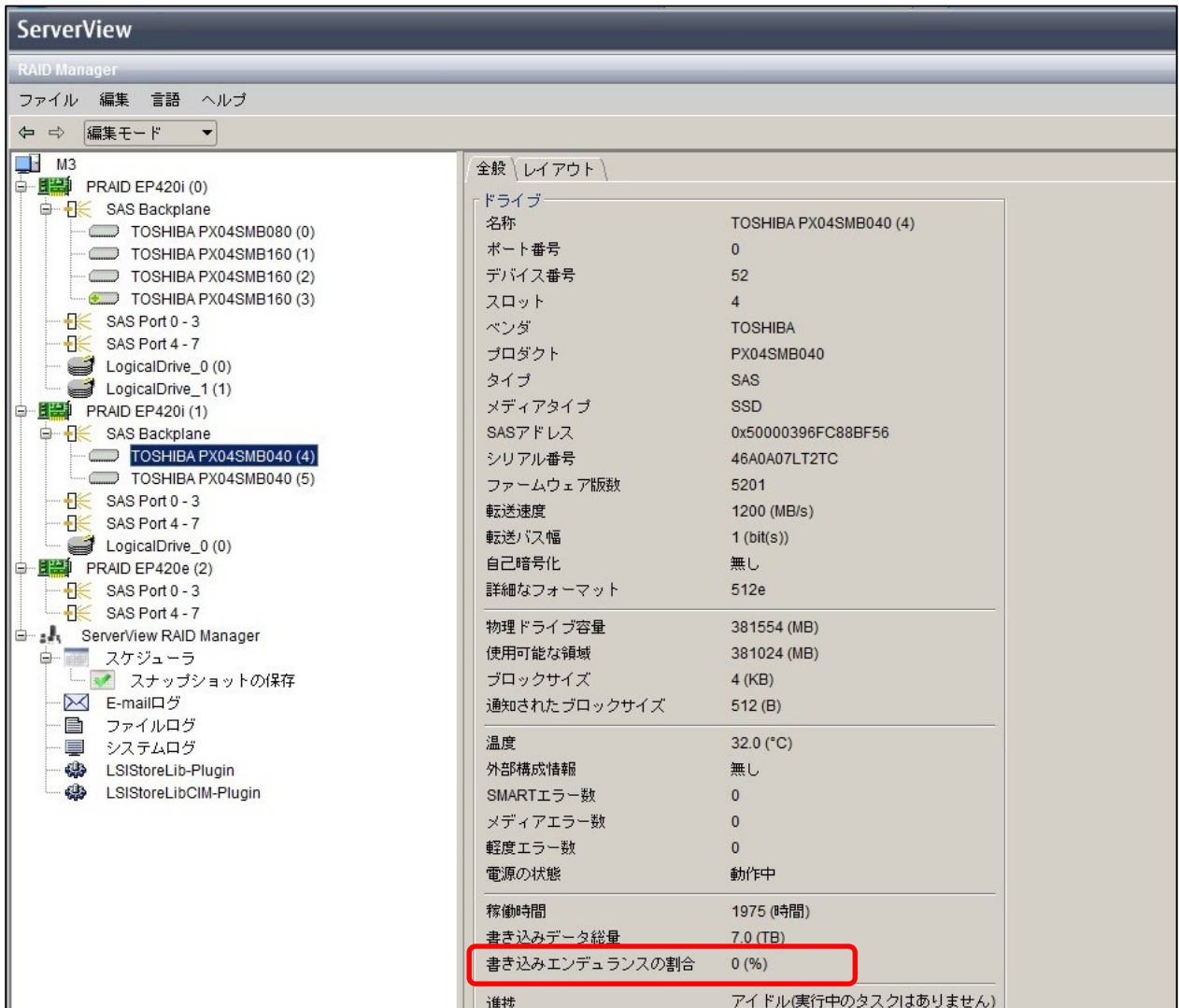
Unit	Slot#	Capacity	Rated write endurance
SB#0	0	800GB	0%
SB#0	3	1600GB	0%
SB#0	2	1600GB	0%
SB#0	1	1600GB	0%
DU#0	3	400GB	0%
DU#0	2	400GB	0%

右側の情報表示に書き込みデータ量が表示されます。

以下は画面の表示例です。また、参照する箇所は赤枠の部分となります。

Server View RAID Manager の言語設定が日本語の場合：

- 「書き込みエンデュランスの割合」: SSD 製品の寿命設計値に対する、書き込まれたデータ量を示します。ご購入時はほぼ"0%"の状態が表示され、書き込みデータが累積することで値が増加していきます。"100%"またはそれ以上になったら書き込み寿命となります。



Server View RAID Manager の言語設定が英語の場合：

- 「Rated write endurance」: SSD 製品の寿命設計値に対する、書き込まれたデータ量を示します。ご購入時はほぼ"0%"の状態が表示され、書き込みデータが累積することで値が増加していきます。"100%"またはそれ以上になったら書き込み寿命となります。

また、「ServerView RAID Manager」のコマンドラインインターフェース(CLI)でも、同じ情報を参照できます。以下のコマンドを実行し、表示された内容を確認します。

- 例 : # amCLI -l all

以下は表示例です。また、参照する箇所は赤枠の部分となります。

```
Chip temperature: 28.0 C
Power On Hours: 21
Write endurance: 1 TB
Remaining reserve space: 100 %
Reserve space status: Healthy
Reserve space warning threshold: 10 %
Total data read: 4 GB
Total data written: 4 GB
Rated write endurance: 0 %
Status: OK
Write throttling: None
Activity: Idle
```

補足: 書き込み寿命に到達した場合の動作

SSD 製品が寿命に到達した場合、「ServerView RAID Manager」はイベントにより通知を行います。

その後もさらに継続して使用し続けた場合、データ保護のため SSD 製品は Read-Only モードへ移行する可能性があります。この場合、それ以上のデータの書き込みはできなくなります。